

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 12月 27日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0114112626		
法人名	医療法人社団美生会 釧路第一病院		
事業所名	グループホームさくら苑		
所在地	釧路市鳥取大通4丁目10番8号 (電話) 0154-51-2121		
評価機関名	北海道社会福祉協議会		
所在地	札幌市中央区北2条7丁目1番地		
訪問調査日	平成19年11月30日	評価確定日	平成19年12月27日

## 【情報提供票より】(19年9月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 10月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 16人, 非常勤 2人, 常勤換算	6.84人

### (2) 建物概要

建物構造	木造		
	2 階建ての	1~2	階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000~45,000 円	その他の経費(月額)	15,000~29,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,479 円		

### (4) 利用者の概要(11月 30日現在)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護1	7	要介護2	3
要介護3	6	要介護4	2
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 82.7 歳	最低 63 歳	最高 94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団美生会 釧路第一病院
---------	------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は人材育成に力を入れており、全職員が熱意を持って日々のケアサービスを実践している。また、母体法人の医療機関とも連携が密に取れており、24時間受診可能な体制が築かれて利用者本人・家族の安心に繋がっている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での課題であった、エレベーターの昇降ボタンについてはカバーをはずし階段も夜間のみ施錠するなど、改善に取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員で話し合いながら自己評価に取り組み、改善に繋げるよう意欲的に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	家族会代表・町内役員・地域包括支援センター職員・地域住民を構成員として運営推進会議を開催している。会議では事業所の運営状況等の報告や意見交換を行っている。今後、会議を活用して緊急時に地域からも協力が得られるよう働きかける取り組みが期待される。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	職員は日頃から利用者家族とのコミュニケーションを大切にして意見・要望等の把握に努め、日々のケアサービスに反映させるよう取り組んでいる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	花見やお祭りなどの町内の行事に参加したり、事業所の行事に近隣住民にも参加してらうなど地域との交流を図っている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	独自の理念をつくりあげ、「いっしょに・楽しく・ゆっくり」をモットーに地域の中でいきいきと暮らしていくことを実践している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会議において理念について繰り返し話し合い、その実践に向けて日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	花見・お祭り・花火大会などの町内の行事に参加したり、事業所の行事に近隣住民も参加するなど地域との交流を図っている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で話し合いながら自己評価を行い、改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1度運営推進会議を開催し、事業所の運営状況等の報告や意見交換を行っている。また、質疑応答も行い事業所の運営に反映させている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>相談や報告等で日頃から市の担当者と連絡を取っており、ともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月事業所便りを発行しており、金銭出納帳のコピーと併せて家族に送付している。また、家族の来訪時に利用者の暮らしぶりや健康状態等を伝え、利用者の状態に変化があった場合はそのつど電話で連絡している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の来訪時に職員は声かけをし、家族の意見・要望等の把握に努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動・離職は最小限に抑え、利用者へダメージを与えないよう配慮している。また、家族の来訪時に職員紹介を行っている。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修に職員は積極的に参加して資格を取得するなど、技術の向上に努めている。また、研修受講後は会議において報告し、研修内容の共有を図っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>釧路根室地区グループホーム協議会の研修会や他事業所との相互訪問を通じて同業者と交流する機会があり、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前に事業所を見学してもらったり、利用者との職員との面談を行うなど、利用者が徐々に事業所の雰囲気馴染めるよう工夫している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>日常生活において料理・畑仕事・裁縫など、職員は利用者から教えてもらうことが多く支え合う関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	職員は利用者との会話・表情・行動などから一人ひとりの希望や意向の把握に努めている。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	担当者と介護支援専門員が中心となり、利用者本人・家族の意見・要望を採り入れながら介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	3ヶ月に1度介護計画の見直しを行い、状況変化に応じてそのつど家族に相談し、現状に即した介護計画を作成している。		
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	通院の送迎や散歩・買い物への付き添いなど、柔軟な支援を行っている。また、家族の要望に応じて宿泊も可能であり、食事の提供も行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	それぞれのかかりつけ医への受診支援を行っている。また、母体法人である医療機関にて24時間受診可能な体制が築かれており、利用者本人・家族の安心に繋がっている。また、訪問歯科診療も受けている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化・終末期に向けた方針について早期に家族と話し合い、医療機関と連携を取りながら対応できるよう体制を整えている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者の誇りを損ねることのないような対応の徹底を図っている。また、個人情報の取り扱いにも配慮し、適切に対応している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩・買い物・ドライブなど一人ひとりの希望に沿った支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力量に応じて食事の準備・配膳・後片付けなどを職員と一緒にしている。また、事業所の畑で採れた野菜を献立に取り入れるなど、食事が楽しいものになるよう支援している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	曜日や時間帯など利用者の希望に合わせた入浴支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	買い物・畑仕事・ビデオ鑑賞など、一人ひとりの生活歴や経験を活かした役割や楽しみごとの支援を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員は利用者個別に外出したい場所等を聞き、喫茶店や飲食店など希望に応じた外出支援を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者が外出した様子が見えるようにドアにセンサーを設置するなど、工夫しながら鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力の下、火災・地震の際の避難訓練を実施している。しかし、地域住民の協力が得られるまでには至っていない。	○	今後、運営推進会議の場を活かして話し合い、地域住民からも緊急時に協力が得られるよう働きかける取り組みが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は利用者一人ひとりの体調を考慮し、医師や栄養士とも相談しながら栄養バランスの摂れた献立を作成している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は清潔で明るく和室も設置されており、利用者が寛げるスペースが確保されている。また、音・光にも配慮され、利用者が居心地良く過ごせるような空間となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には利用者が使い慣れた馴染みの物が持ち込まれており、本人が安心して暮らせるよう工夫している。		

 は、重点項目。